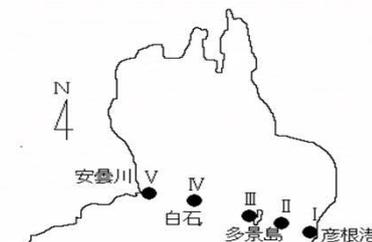


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和7年4月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご注意ください。

調査年月日 令和7年4月11日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

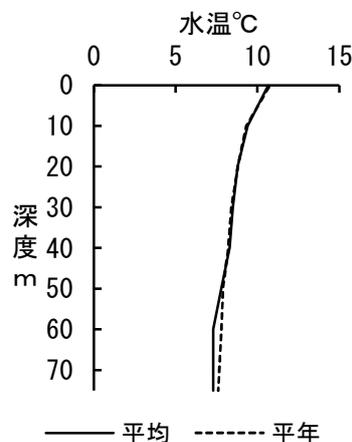
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2015年～2024年(平成27年～令和6年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 4月平均値 5.2m 平年値 5.7m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	4月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	10.6	10.7	-0.1
10	9.4	9.3	+0.1
20	8.8	8.8	+0.0
30	8.5	8.4	+0.1
40	8.3	8.2	+0.1
50	7.8	7.9	-0.1
60	7.3	7.8	-0.5
75	7.3	7.6	-0.3



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
3月下旬	10.0	9.2	+0.8
4月上旬	11.0	10.2	+0.8
4月中旬	12.7	11.4	+1.3

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	4月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	9.9	13.8	-3.9
10~20	3.4	4.7	-1.3
20~40	1.0	1.7	-0.7
40~75	0.3	0.7	-0.4

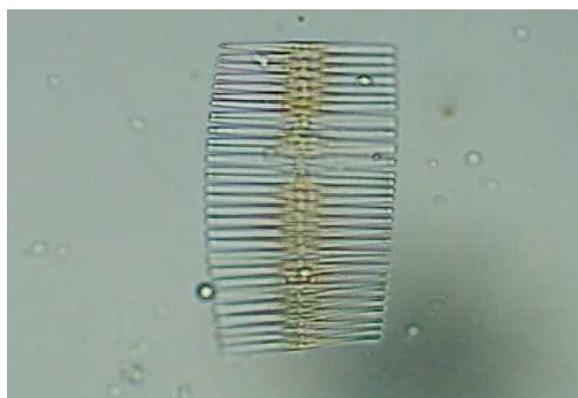
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

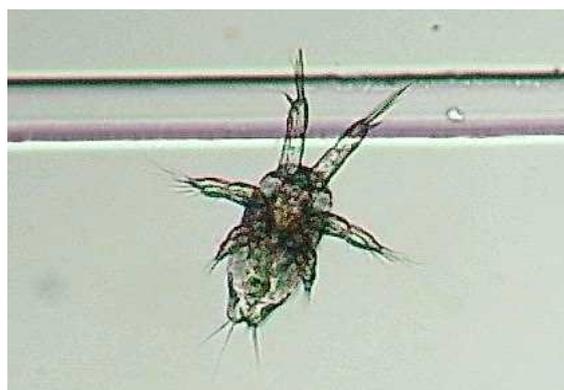
○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、二地点とも*Fragilaria crotonensis* (オビケイソウ:珪藻)が、細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生が個体数で最も多く認められた。



Fragilaria crotonensis



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	4月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	12.3	110.6	11.7	107.3	0.6	(+3.3)
10	12.0	106.4	11.7	103.4	0.3	(+3.0)
20	11.5	99.1	11.5	100.2	0.0	(-1.1)
30	11.5	98.0	11.3	98.2	0.2	(-0.2)
75	10.5	86.9	9.9	83.1	0.6	(+3.8)